シグマ光機株式会社

証券コード：7713

光なら、きっとできる。

Light Solutions for Life®

第45期 中間報告書

2019年6月1日 ▶ 2019年11月30日

Contents

株主の皆様へ
第2四半期の業績（連結）
第2四半期のセグメント別概況
2020年5月期業績見通し（連結）
Topics　新製品紹介　ナノオーダー製品
CSR活動・株主様アンケート結果のご報告
連結財務諸表
株式の状況／会社概要

OptoSigma®

株主の皆様へ

経営理念　**我社は光産業を通じ、社会に貢献します。**

Light Solutions for Life®

「感謝」「挑戦」「創出」

「Globalization」「Diversity」「Flexibility」
当社技術センターの前で。中央に近藤社長（右から4番目）。

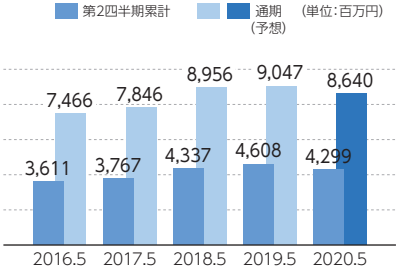
株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当上半期は、売上高が前年同期比6.7％減の42億9千9百万円、経常利益は前年同期比43.3％減の4億5千2百万円となり、前年同期比で減収減益となりました。世界経済の減速傾向等を背景にエレクトロニクス分野を中心とした産業分野向けの設備投資が伸び悩み、当社の需要も弱含みで推移いたしました。そのような中、当社では、経営環境の変化に対応し、安定的・継続的な成長を実現する強固な経営基盤の構築のために、新工場棟の建設及び新規設備の導入、北米・欧州地域はもとより東南アジア地域の開拓・深耕、産学官連携の強化等によって、「生産能力の増強と新技術確立」、「海外マーケットでの事業拡大」、「有望な成長市場への参入・シェア増」を推進しております。引き続き、企業価値の最大化を目指し、着実な株主還元に努めて、株主様の期待に応えるとともに、社会の発展に貢献してまいる所存でございますので、株主の皆様におかれましては、今後とも何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

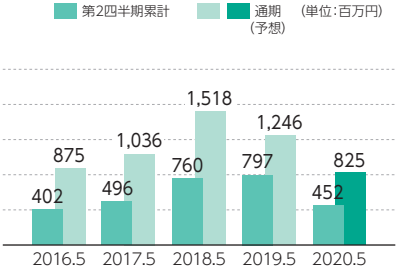
シグマ光機株式会社
代表取締役社長　近藤 洋介

第2四半期の業績（連結）

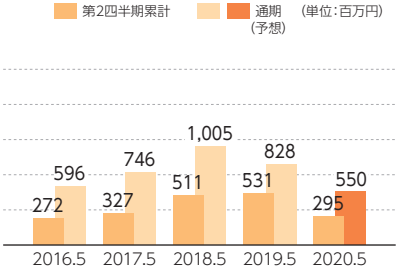
売上高 42億9千9百万円
（前年同期比 6.7％減）



経常利益 4億5千2百万円
（前年同期比 43.3％減）



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 2億9千5百万円
（前年同期比 44.4％減）

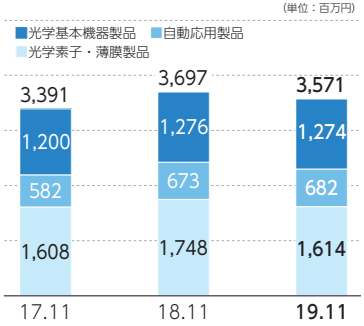


第2四半期のセグメント別概況

▶ 要素部品事業

売上高 ↓ **3.4 %減**

（前年同期比 1億2千6百万円減）



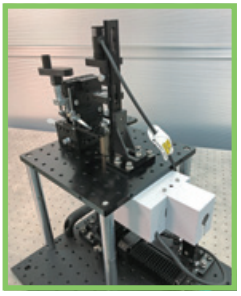
ポイント　産業分野向け光学素子・薄膜製品が軟調

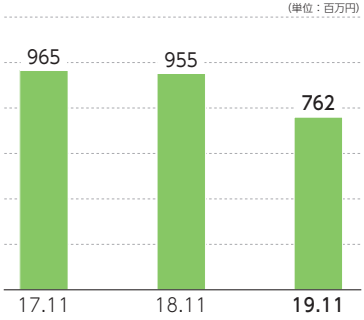
大学・官公庁向けは横ばいで推移し、産業分野向けは弱含みで推移いたしました。バイオ業界向けの自動応用製品は堅調に推移も、フラットパネルディスプレイ業界向けや電子部品・半導体業界向けの光学素子・薄膜製品が軟調に推移いたしました。また、米国地域ではバイオ・医療業界向けが堅調に推移いたしましたが、欧州地域は弱含みで推移いたしました。

▶ システム製品事業

売上高 ↓ **20.2 %減**

（前年同期比 1億9千2百万円減）

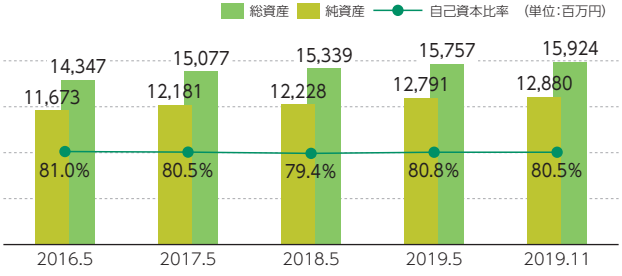




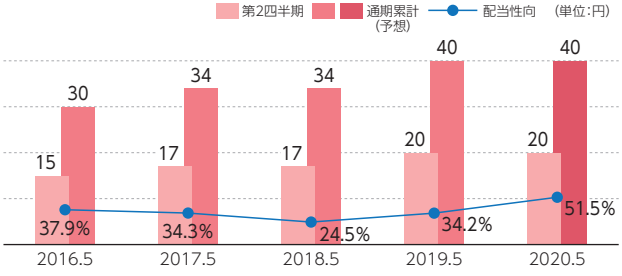
ポイント　レーザ加工機・検査装置向けが弱含み

世界経済の減速傾向等を背景に、産業分野の設備投資に足踏み感が見られ、需要は軟調に推移いたしました。国内・アジア地域では、フラットパネルディスプレイ業界向けのレーザ加工機・検査装置への組込み用のレンズユニット等の光学ユニット製品の需要が弱含みで推移いたしました。防衛業界、医療業界向けの需要は緩やかな回復基調で推移いたしました。

総資産・純資産 自己資本比率



配当金、配当性向



2020年5月期業績見通し（連結）

世界経済の減速感の広がり等を背景に、景気の先行きに不透明感が増しております。そのような中、国内市場の足元の受注環境では電子部品・半導体業界やバイオ・医療業界等で回復の兆しが見られております。引き続き全社的な生産性向上及び経費削減に取り組み、収益性の向上を図ってまいります。第45期中間配当は、期初予想通り1株当り20円とさせていただき、安定的な株主還元を行ってまいります。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	配当額（通期累計）
8,640百万円 （前期比 △4.5%）	715百万円 （前期比 △36.4%）	825百万円 （前期比 △33.8%）	550百万円 （前期比 △33.6%）	40円 配当性向（見通し）51.5%

※2019年7月8日に公表いたしました2020年5月期通期の業績予想（連結・個別）を2020年1月10日付にて修正しております。詳細は、当社ホームページでご確認ください。

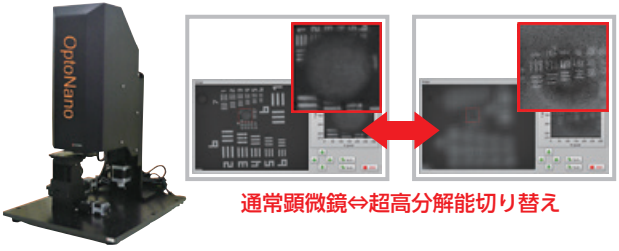
Topics　新製品紹介　ナノオーダー製品

「観る」・「制御する」をナノ※レベルへ！ ナノオーダーに対応する新製品をラインナップ！
量子関連・半導体・通信・材料分野等の研究用途や技術応用のお客様への魅力的な提案に展開！

※1ナノ（nm）＝長さの単位。10億分の1メートル（m）。地球の直径（12,742km）を1メートルとすると、1円玉（20mm）の約半分が1ナノとなります。

オプトナノ

ナノオーダーの分解能を有する新しい光学顕微鏡システムです。
対物レンズとマイクロスフィアの組み合わせによって、超高分解能を実現いたしました。



通常顕微鏡⇔超高分解能切り替え

ナノステージ

1nm分解能で位置決めができるフィードバックステージです。
移動量は、20mm、50mmの2タイプをラインナップしています。

CSR活動

当期も、東京大学の大学院教育プログラム「先端レーザー科学教育研修コンソーシアム（CORAL）」や小中学生を対象とした科学教室「光の寺子屋」といった社会貢献活動を実施し、科学に携わる次世代の人材育成に貢献しております。また、女性活躍推進及び従業員育成への取り組みとして、継続して「働く女性サミット」を開催しております。今回は外部から女性リーダーを講師に迎え、組織内における円滑なコミュニケーション方法とリーダーに求められる重要な要素についての講義及びディスカッションを行いました。

先端レーザー科学教育研修コンソーシアム（CORAL）

光の寺子屋

働く女性サミット

株主様アンケート結果のご報告

株主様アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

第44期報告書で実施させていただきましたアンケートにつきまして、アンケート対象の全株主様4,244名（2019年5月31日時点）の約2％に相当する87名の株主様からのご回答をいただきました。お寄せいただきましたご意見・ご要望等は、今後の会社経営及びIR活動に活かしてまいります。

株主様からのご意見

Q **バイオに注力して販売してもらいたい。海外は東南アジア・インドにも事業を拡大して欲しい。**

A 当社は、光産業を通じた社会貢献を目指しており、光技術を必要とする多様な業界向けに、光ソリューションを提供しております。人々の「いのち」や「くらし」に関わるバイオ分野においても、その重要性を認識しており、新製品・新技術開発に取り組んでおります。また、昨年4月からシンガポール子会社OptoSigma Southeast Asia Pte. Ltd.が事業を開始いたしました。最先端技術の需要が拡大する東南アジア・インド市場においても、積極的に事業を展開してまいります。

Q **御社のヒカル（光）技術に期待しています。**

A 当社は、光学関連のパーツ、ユニット、システムを設計から開発、製造、評価、販売、サポートまでワンストップで提供できるレーザ用光学製品の国内トップブランドです。また、中核技術である「光学」、「機械」、「電気」、「ソフト」、「システム化」の更なる高度化及び総合力の強化に向けて、日高工場の新棟建設、超高性能生産設備の導入等を進めております。今後ますます光技術の需要が拡大する中、独自の光技術を駆使した高付加価値製品の開発・製造に向けて、技術革新に挑戦してまいります。

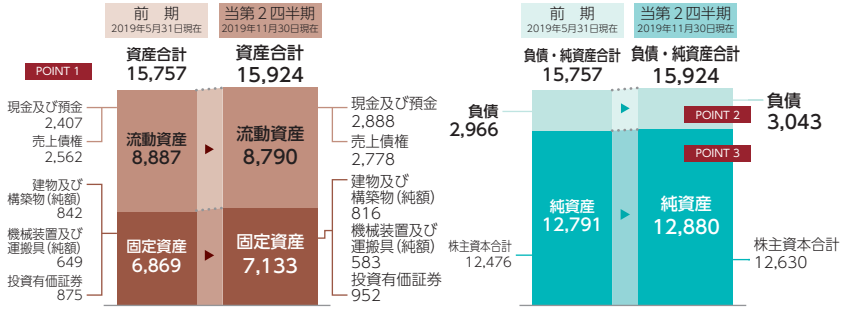
株主様からのご意見・ご要望のご紹介

●しっかり、地に足をつけた経営をお願いいたします。　●技術力に期待しております。
●東京での個人投資家向け会社説明会や事業所見学会を開催して欲しい。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表の概要

（単位：百万円）



POINT 1

資産の変動

流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金がそれぞれ増加し、有価証券、たな卸資産がそれぞれ減少したこと等により前期末比で1.1％減少しました。固定資産は、当社における新工場棟建設のための建設仮勘定、投資有価証券がそれぞれ増加したこと等により、前期末比で3.8％増加しました。

POINT 2

負債の変動

流動負債は、短期借入金が増加しましたが、電子記録債務、支払手形及び買掛金がそれぞれ減少したこと等により前期末比で15.6％減少しました。固定負債は、長期借入金が増加したこと等により前期末比で44.9％増加しました。

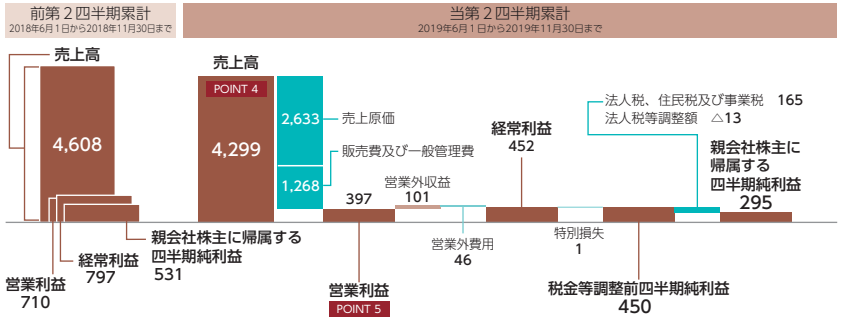
POINT 3

純資産の変動

純資産は、前期末比0.7％増加しました。また、自己資本比率は80.5％となりました。

■ 連結損益計算書の概要

（単位：百万円）



POINT 4

売上高の動き

売上高は、前年同期比で6.7％減少となりました。大学・官公庁の研究開発分野においては、需要は横ばいに推移しましたが、民間企業向け研究開発分野及び産業分野においては、世界経済の減速などを背景に、需要は弱含みで推移いたしました。なお、米国地域の需要は堅調に推移し、欧州地域の需要は弱含みで推移しました。

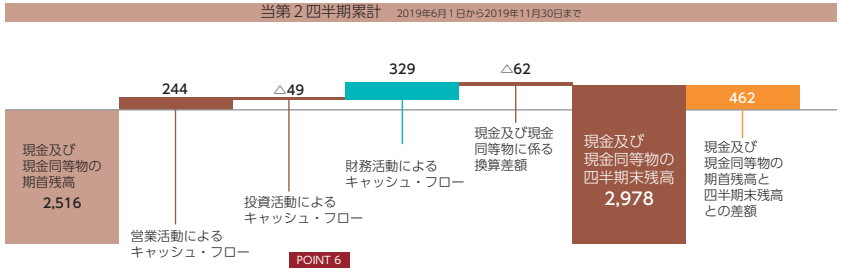
POINT 5

営業利益の動き

営業利益は、減収による利益減少や、製品ポートフォリオの変化による材料費率の増加、減価償却費、広告宣伝費、試験研究費がそれぞれ増加したこと等により、前年同期比で44.0％減少しました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

（単位：百万円）



POINT 6

キャッシュ・フローの状況

営業CFの資金獲得の主な要因は、税金等調整前四半期純利益、たな卸資産の減少、減価償却費等による増加や、仕入債務の減少、法人税等の支払等による減少となります。投資CFの資金使用の主たる要因は、有価証券の償還による収入や有形固定資産の取得による支出等による減少となります。財務CFの資金獲得の主たる要因は、長期借入れによる収入等による増加や、配当金の支払、長期借入金の返済による支出等による減少となります。

詳細の情報はこちらもご覧ください。http://www.sigma-koki.com/pages/ir/index_jp.php

株式の状況／会社概要

■ 株式の状況（2019年11月30日現在）

①発行可能株式総数　32,000,000株

②発行済株式の総数　7,552,628株

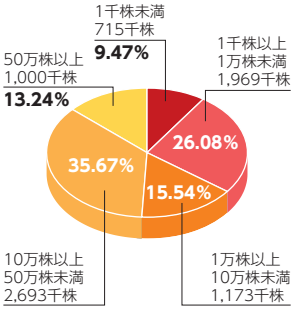
③株主数　4,318名（前期末比74名増）

④主要株主

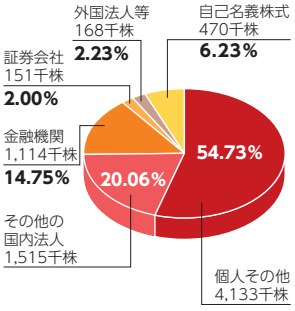
株　主　名	所有株数（千株）	持株比率（%）
浜松ホトニクス株式会社	1,000	14.12
シグマ光機取引先持株会	392	5.55
シグマ光機従業員持株会	220	3.12
株式会社津島建材	204	2.88
株式会社埼玉りそな銀行	203	2.87
富国生命保険相互会社	200	2.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	150	2.13
佐々木　嘉樹	150	2.12
株式会社サンライズクリエート	148	2.09
森　聆二	124	1.76

（注）1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しております。
3. 持株比率は、自己株式（470,332株）を控除して計算しております。

所有株数別株式分布状況



所有者別株式分布状況



（注）1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しております。
3. 自己名義株式（470,332株）を含んでおります。

■ 会社概要（2019年11月30日現在）

社　名	シグマ光機株式会社
本　社	埼玉県日高市下高萩新田17番地2
設　立	1977年（昭和52年）4月
資本金	26億2,334万円
従業員数	345名
役　員	代表取締役社長　近藤洋介 取締役　中村良二 取締役　多幡能徳 取締役　小林祐二 常勤監査役　山口秀一 監査役　南雲幸一 監査役　野﨑誠

（注）1. 小林祐二氏は社外取締役であります。
2. 南雲幸一氏及び野﨑誠氏の2氏は社外監査役であります。
3. 社外監査役 野﨑誠氏は独立役員であります。

❖ 主な事業所

- 本社・日高工場
- 東京本社
- 大阪支店
- 九州営業所
- 能登工場
- 技術センター

❖ 関連会社

- OptoSigma Corporation
- OptoSigma Europe S.A.S.
- OptoSigma Southeast Asia Pte. Ltd.
- 上海西格瑪光机有限公司
- タックコート株式会社

当社の中間報告書は、「UDフォント」を採用しています

視認性、判読性に優れたユニバーサルデザイン（UD）書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしております。

文字使用例
（従来）S36 ▶ （今回）S36

株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月開催
基準日	定時株主総会　毎年5月31日 期末配当金　毎年5月31日 中間配当を行う場合は、毎年11月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
電子公告URL	http://www.sigma-koki.com/

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

（電話照会先）フリーダイヤル 0120-782-031（通話料無料）
（インターネット ホームページURL）
https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、みずほ信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。左記株主名簿管理人とはご照会先及び住所変更等のお届出先が異なりますのでご留意ください。

〈特別口座に関するご照会先〉

（特別口座　口座管理機関）	みずほ信託銀行株式会社
（郵便物送付先）	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-288-324（通話料無料）

株主の皆様の声をお聞かせください

下記ＵＲＬにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

※なお、抽選は同時期に実施されている他社株主アンケートへの回答者を含めて行われます。

https://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 7713
いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

e-株主リサーチ
※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細　https://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-6779-9487（平日 10:00～17:30）MAIL:info@e-kabunushi.com

シグマ光機株式会社
東京本社　東京都墨田区緑1-19-9
TEL.03-5638-8221（総務部）

UD FONT
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK